社協だより

第191号
2021．9．1
点字・拡大・音訳版あります

【編集・発行】社会福祉法人 直方市社会福祉協議会　〒822-0026 福岡県直方市津田町７番35号
TEL 0949 (23) 2551　FAX 0949 (23) 2552
e-mail : nogata-shakyo@fuga.ocn.ne.jp　HP : http://www.nogatashakyo.org/

令和３年３月に設置された浸水深表示（しんすいしんひょうじ）の赤いテープ。
※撮影場所…福岡ゆたか中央病院前（直方市大字感田）

もくじ

●福岡県総合防災訓練／Sakura clubプロジェクト／生活支援員募集／書損じはがき・切手の寄付について…… 2
●不登校・ひきこもり家族相談／第21回男性介護者のつどい／令和３年度地域福祉セミナー図書室（52ヘルツのクジラたち） …… 3
●登録ヘルパー募集・赤い羽根共同募金運動開始・令和３年度福祉まつり中止のお知らせ・生活必需品など寄贈・ご寄付…… 4

kantera カンテラ

電柱の赤いテープ、何のため？

みなさんは、直方市内の電柱の３ｍ・４ｍの高い位置に、赤いテープが引かれているのをご存じですか？ハザードマップの浸水が想定される区域の電柱100ヵ所に、遠賀川又は犬鳴川が氾濫した時の浸水時の高さの目安として、直方市が貼り付けています。

今年も各地で豪雨災害が起きています。遠賀川は河道掘削など最善の対策を行っていると思いますが、100年に一度の豪雨が降ってしまわないか一抹の不安を感じます。

実際に電柱の下から、高さ３ｍの赤いテープを見上げてみましたが万が一、氾濫が起きてしまった時は、事前に避難しておかなければ命に関わることを肌で感じました。

昨年、熊本県の球磨川流域の豪雨災害で被災された方の「津波のようだった」という、悲痛な言葉を思い起こしました。

（藤田）

この社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金で作成しております。

福岡県総合防災訓練

風水害及び地震を想定した、各種防災訓練が直方市で行われます。災害時における連携の強化、防災技術の向上並びに防災思想の普及啓発を目的としています。消防、警察、自衛隊など多くの機関が参加して、関係機関や地域住民の方々が一体となった、総合的な防災訓練です。

訓練では、発災直後の避難指示の発令から始まり、ヘリの離着陸を含む救助訓練、重機やトラックを使って道を作る訓練、土のう作成訓練、救護訓練などが行われます。また、防災グッズ・防災対策用車両・警察車両などの展示も行われます。

一般の方も観覧自由となっていますが、新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては変更する場合があります。なお、直方市社会福祉協議会も参加を予定しており、災害ボランティアセンター設置運営訓練を担当します。

■開催日 令和3年10月23日（土）
■訓練時間 10時～12時
■展示時間 10時～12時30分
■場　所 直方市遠賀川河川敷グラウンド（直方市頓野3334―5 ハローワーク直方前）
■主　催 福岡県・直方市

Sakura club プロジェクト

「様々な事情で生理用品の購入ができない方々に生理用品を届けたい！」という気持ちから、生理用品の無料配布を行う、「Sakura club プロジェクト」をご存知ですか？

現在、直方市内6つの施設・店舗で無料配布を行っています。

また、生理用品のご寄付も募集しています。直方市社会福祉協議会が寄付の窓口となっているので、ご協力いただける方がいましたら、よろしくお願いいたします。

■活動団体
Sakura club プロジェクト

■配付場所
・仮想未来区役所 直方出張所 囲炉裏
・直方バプテストキリスト教会
・Tree branch 木のおもちゃ＆フリースペース
・カフェピコラ
・画廊カンヴァス
・直方市社会福祉協議会

Sakura club
プロジェクトのマーク

詳しい場所はこちら！

日常生活自立支援事業 生活支援員の募集

日常生活自立支援事業は、認知症高齢者や知的・精神障害者が、住み慣れた地域で安心して自立した生活を送れるように、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助などを行うものです。

利用者の支援計画に沿って、自宅や施設などを定期的に訪問し、利用料の支払いなどをお手伝いする「生活支援員」を募集しています。

■募集人員
若干名

■勤務時間
平日の月1～2回訪問。訪問1回に当たり1時間30分程度

■賃金（時給）
900円（詳細はお問い合わせください）

■応募要件
①普通自動車運転免許
②ボランティア活動や福祉に理解のある方

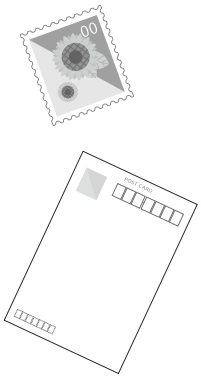
■問い合わせ
直方市社会福祉協議会　地域係

書損じはがき・切手の寄付について

家庭や職場で眠っているはがきや切手はありませんか。

直方市社会福祉協議会では、宛名や文面を間違えてしまった書損じはがき（年賀状など）や、古くなって使用していないはがき・切手の寄付を受付けています。

集まったはがきは、新しいはがきや切手に交換し、地域福祉推進事業に活用しています。



■受付け方法
直方市社会福祉協議会にお持ちいただくか、ご郵送ください。
※ 郵送の場合、恐れ入りますが送料はご負担願います。
※ 領収書と社協だよりの寄付者の欄に掲載を希望される方は、申し出てください。

■問い合わせ
直方市社会福祉協議会　総務係

この社協だよりは、点字・拡大・音訳版もあります。ご希望の方はご連絡下さい。

不登校・ひきこもり家族相談

子どもの不登校で悩んでいませんか？

不登校・ひきこもりの子どもたちを抱えた経験者が、悩みや気持ちをお聞きします。

ひとりで抱え込まずに、悩みや苦しい気持ちを共有して、学校に行けずに苦しんでいる子どもを一緒に見守りませんか。

不登校でお悩みの方、誰でもお気軽にご相談・ご連絡ください。

●相 談 日　毎月第２水曜日
（変更する場合がありますので事前にご連絡ください）
●相談時間　10 時 30 分～ 12 時
●会　　場　直方市社会福祉協議会
（直方市津田町７番 35 号）
●主　　催　学校に行かない子どもを支える会
●問い合わせ　直方市社会福祉協議会

第 21 回男性介護者のつどい

男性介護者同士が、同じ立場で話をすることで、今日を生きる力を共有する場をつくるために男性介護者のつどいを開催します。講師の話を聞いた後に、講師も交えて、日常生活の悩みなどを意見交換します。

●開 催 日　令和３年 10 月９日（土）
●時　　間　13 時～ 15 時
●会　　場　直方市中央公民館　第４学習室
●対　　象　男性介護者の方
●講　　師　下島康則さん
（男性介護者と支援者のつどい全国ネットワーク九州ブロック世話人）
●参加費　100 円
●問い合わせ　直方市社会福祉協議会

令和３年度地域福祉セミナー　「若年性認知症」

地域福祉セミナーを開催します。

今年度は「若年性認知症」がテーマです。どなたでも参加できますので、興味のある方はお気軽にどうぞ。１回目のみ２回目のみの参加も可能です。詳しくは、直方市社会福祉協議会ホームページをご確認ください。

第１回　「共に笑って　共に生きる」
●開 催 日　令和３年 10 月２日（土）
●時　　間　13 時～ 15 時
●会　　場　直方市中央公民館　第３学習室
●定　　員　70 名
●参 加 費　100 円
●講　　師　川島豊輝 さん
（福岡県認知症介護指導者）
岡山和行 さん
（若年性認知症の人と家族の会「ローズ・マリー」会長、若年性認知症の方の家族）

第２回　「出会いに感謝　楽しい仲間」
●開 催 日　令和３年 12 月４日（土）
●時　　間　14 時～ 16 時
●会　　場　ユメニティのおがた　小ホール
●定　　員　150 名
●参 加 費　100 円
●講　　師　中村益子 さん
（福岡県認知症介護指導者）
若年性認知症当事者（若年性認知症の人と家族の会「さろ～んパス」会員）
●問い合わせ　直方市社会福祉協議会

図書室

「52ヘルツのクジラたち」

著　者　町田そのこ
発 行　中央公論新社

52ヘルツのクジラとは、他のクジラが聞き取れない高い周波数で鳴く、世界でただ一頭だけのクジラ。たくさんの仲間がいるはずなのに、何も届かない。何も届けられない。そのため、一番孤独だと言われている。

自分の人生を家族に搾取されてきた女性・三島貴瑚（キコ）と、母に虐待され「ムシ」と呼ばれていた少年。孤独ゆえ愛を欲し、裏切られてきた彼らが出会う。そんな貴瑚を救おうと一人の男性が奮闘。だが、貴瑚にはもう一人結婚を約束した男性が・・・。

二人は貴瑚を守ろうとするが、果たして貴瑚の「本当の叫び」をキャッチできたのは？

貴瑚の叫びは誰にも届かない。52ヘルツのクジラのように。

（広田）

登録ヘルパー募集中！詳細は裏面をご確認の上、お気軽にご連絡ください。

「福祉なんでも相談」受付中！お困りのことがあったらお気軽にご相談ください。

「登録ヘルパー」募集します

ご利用者の地域生活を、一番近くで支えるとても素敵なお仕事です。

【ヘルパーに楽しさ・やりがいを聞いてみました】

- 利用者の笑顔を引き出せた瞬間
- お互いにシフトを助け合える
- ヘルパー同士わきあいあい
- 休日が取りやすい

■資　　格
介護職員初任者研修課程修了者
（ホームヘルパー2級以上可）

■活動時間
7時から21時の間
（時間は相談の上）

■賃金（時給）
842円～1,860円

■問い合わせ
直方市社会福祉協議会
総務係

「赤い羽根共同募金運動」が始まります

赤い羽根のホームページ
http://www.akaihane.or.jp/

今年も10月１日から12月31日までの３ヶ月間、赤い羽根共同募金運動が全国で一斉に展開されます。

赤い羽根共同募金は、民間の社会福祉事業を支援するための募金として社会福祉法に位置づけられ、市内の高齢者、障害者、子どもたちやボランティアなど、様々な地域の福祉活動を支えています。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

「令和３年度福祉まつり」中止のお知らせ

令和３年10月24日（日）に予定していた、令和３年度福祉まつりは、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、開催を断念することとしました。

開催を楽しみにしてくださっていた皆様には、大変残念なお知らせとなりますが、何卒ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

■問い合わせ
直方市社会福祉協議会

生活必需品などの寄贈

社会福祉法人豊徳会様より、食料品（米、水、缶詰）などの生活必需品を寄贈していただきました。生活困窮者への食の支援などに大切に使わせていただきます。

ありがとうございました。

ご寄付ありがとうございます。

令和3年5月11日から令和3年8月10日
3件　合計金額　260,522円
（お名前は承諾された方のみ掲載、敬称略）

香典返し寄付金

- 頓野（故）大野　積子
- 上新入（故）野村　雅輝

生活必需品など寄贈

- 社会福祉法人　豊徳会

編集後記

つながる直方から「渇水の恐れがあるため節水を」との知らせがスマホに入りました。早速、歯を磨く時などは水を止めるようにしています。便利な生活に慣れてしまい「水」だけでなく資源を無駄使いしていました。プラスチックごみが問題になり直方市の「ごみ資源ブック」を参考にして資源回収場所に持って行くようにしました。

異常気象による災害も資源の無駄使いが原因と言われています。当たり前になっている便利な生活を一人ひとりが見直して、不自由な生活を少し心掛けるだけで有限の資源を無駄にする事なく子孫に残していけると考えます。（石黒）

ボランティアセンターの運営をしています。
～ボランティアをしたい人とボランティアを必要としている人をつなぎます～